

# ありとあらゆるものが切り捨てられる

# 国労ちば

国鉄労働組合  
千葉地方本部  
発責 井村 好博  
編集 安田 正浩  
【電話】  
JR 2930 FAX 2934  
NTT 043(238)5963  
FAX 043(238)5967

団結こそ最大の力、  
共に国労で闘おう

## あきらめ・そして見切り

### 「コスト削減」施策で交渉

**黒字化一色の会社**  
会社はコロナが終っても以前のような状況には戻らない等を理由に挙げて「コスト削減」の施策を進めている。

改定ではベアゼロに加えて定期昇給まで手を付けてきたJR東日本会社のコスト削減は全職場・職種に及ぶ。

土の肉体的・精神的疲労の増加、車掌の削減と転勤、みどりの窓口の営業時間変更などが行われてきた。

そして、回避困難なコロナ禍の中でも「2年連続の赤字だけは避ける、絶対に黒字化を目指す」という傲慢な姿勢を示している。

**利用者・社員へ**  
すべて押し付け  
ダイヤ改正を前後して行われた業務委託駅の無人化、ダイヤ改正で導入されたワンマン運転の拡大による運

転の拡大による運  
転の拡大による運  
転の拡大による運



今年2月に多機能券売機が新型に替わる際、3台から2台へ削減、4月にはコスト削減で、さらに1台削減された。  
記名式スイカカードや定期券を購入する人がいるとすぐに行列ができ、「切符が買えない」「(停止している機械を)早く直せ」と改札窓口へ苦情が寄せられる。

「モノ」以下の扱い  
コロナ禍においてエッセンシャルワーカーとして働いている社員に対して労苦に報いる投資は皆無である。  
私たちは「モノ」以下の扱われ方、働かされ方に対して断固として抗議

5月26日営業関係  
「コスト削減」施策に対する申し入れ(千交第5号)の交渉が開催された。8項目の申し入れの回答はわずか3行という不誠実極まりないものである。(詳細は団交情報No.808号参照)

そして最後には!?!  
設備のスリム化から時計の撤去の話も出ている。駅では時刻表さえも削減(みどりの窓口の設置駅は1冊のみ、無い駅は廃止)された。  
ありとあらゆるものが切り捨てられ、安全とサービスも、社員のやる気も一緒に消えてなくなるのだろう。

### 2021年度全国大会・東日本本部大会 代議員選挙結果

2021年度定期全国大会及び東日本本部定期大会の代議員選挙が告示され、どちらも定数通りの立候補のため、無投票による当選が決まった。

- ◆全国大会代議員  
加藤 晃一(両国分会)
- ◆東日本本部大会代議員  
北嶋 利則(千葉電気分会)  
安田 正浩(佐倉分会)

高輪ゲートウェイ駅に隣接する広場の一部から「高輪築堤」跡が見つかった。特に約380Mにわたる遺跡が無数の石を整然と積み上げた形で見つかりそこには日本最初の信号機の遺構もあり極めて重要性が高いと考えられている。  
しかし、JR東日本会社は「国際交流拠点」と称する大型ビルを建てようとしている。その際一部を残して「記録保存」する方針を決めた。「記録保存」とは石などの長さ等を記録した上で破壊することだ。日本考古学協会では「保存と開発の両立は可能」と指摘。十分な検討がされたとは言いがたいとして破壊方針に抗議し決定を「撤回」し「全面保存」するよう求めた。萩生田文科相も「開発と保存を両立させながら貴重な文化遺産を現地で保存、公開できるよう」JR東日本に伝えた。国会で答弁。日本初の鉄道と日本最新の駅と両立させることは本当に無理なのだろうか? 破壊してから悔やんでも遅い。JR東日本も考え直せ! (正)



# 2021 メーデー 前夜祭

4月28日、千葉市民会館3階特別会議室にて、国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議主催の「2021メーデー前夜祭」が開催された。

N関労千葉支部の平井さんの司会・開会あいさつで始まった。

主催者を代表して千葉県共闘会議坂本議長（高教組委員長）があいさつし、続いて社会民主党千葉県連合、新社会党千葉県本部、日本共産党千葉県委員会よりそれぞれあ

いさつを頂いた。

その後、許すな！憲法改悪 市民連絡会事務局次長の菱山南帆子さんより「コロナ禍における格差貧困の拡大」について講演を受けた。

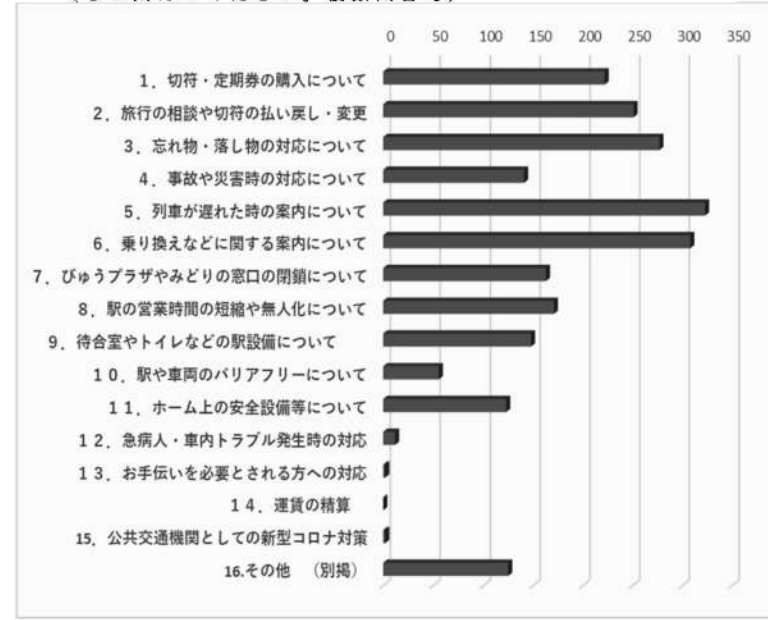
講演内容は、コロナ禍が始まって一年が経った日本のコロナ対策。野党共闘誕生から6年が経ち若者の思い。自死率急増から見るコロナ禍浮き彫りになった問題について。コロナ禍で考える暮らしと闘いについては、新

たな生活の中でどう工夫をしながら闘いを実践していくか。野党共闘で本気の政権交代をしていくか。など、幅広い分野での話がされた。

メーデーアピール採択を千葉労の久木元委員長が行った後、千葉スクラムユニオンの小柳書記長の閉会あいさつで集会は終了した。

まん延防止等重点措置という中だったが、全体で40名が参加し、国労もOB含め13名が参加した。

Q3. JRを利用して困った事や不便だと感じる事はありますか？  
(○で困ってください。複数回答可)



## JR利用者アンケートを集約

## 「困ったこと」や「不便」だらけ

国労千葉地方本部は、ダイヤ改正毎に切り捨てられる千葉以東線区とワンマン運転の拡大の動きに歯止めをかけようと、昨年よりJR利用者へのアンケート調査を実施してきた。

ワンマン運転拡大導入予定の駅頭での利用者へのアンケート用紙の配布・宣伝行動、さらに千葉県内の労働組合や団体への協力要請により集められたアンケートを集約した。

今回のアンケートの設問3「困ったことや不便だと感じる事はありませんか」への回答が一番多かったのは「列車が遅れた時の案内」、

次いで「乗換えなどに関する案内」だった。これはワンマン運転される前の回答である。今はワンマン運転拡大導入で、車内放送する車掌が乗務しなくなった。そして運転士は運転に専念するため放送はしなくてよいとされている。

さらに無人駅も増加し、誰にも何も聞けず、「困った」「不便だ」だらけになっている。

JR千葉支社の「ハートフル通信」の「お客さまの声の傾向」では「ワンマン列車に関するご意見が目立ちました。」と囲み文字で記載され「駅接遇・業

## 闘うネコ伝説 ～第2章～

便利なJRを取り戻すために立ち上がった8匹のネコたち。

JRを不便にした八犬士と闘おうと、ヤル気十分で話し合いを始めたが、中々上手く自分の地域の事ばかり考えて、全然まとまらないのだ。

「まずは、リーダーを決めて、リーダーの住む地域から良くしていくのはどうかニャ？」

そう口火を切ったのは、いつも冷静な内房線のウチニャン。他のネコたちも賛成した。

その話し合いで大将に選ばれたのは、ネコたちの中で最も血気盛んな久留里線のクルリンだった。

「それじゃ、まずは久留里線の情報収集だ！」

沿線の人々や久留里線の利用者から困っている事やJRに改善してもらいたい事を聞くため、ネコたちは地域の人々が集まる公民館を訪れた。

そこでネコたちは、人々が不便になった鉄道のせいでどれほど苦しめられているのかを思い知らされることになった。



次章へつづく...

## 当面の日程

- 6月11日11時、両国・新浦安分会交流
- 6月23日10時30分、成田分会定期大会
- 6月25日8時45分、東京総行動 (総務省前スタート)



## 国労新小岩保線分会

5月14日、地本会議室において、第21回定期大会を開催した。

寺林執行委員長は「組織人員が減り運動しづらい。だからといって逆に言わなければどんどん酷くなる。『これからも頑張るぞ！』」

討論では「若手社員が退職した。組合がなく、相談相手がいない」「見える行動が必要」「コロナ予防接種が始まっている。体に異変が出た場合の会社側の対応が不安」などが議論された。

最後に「月1回の執行委員会を開いていこう」と集約し閉会した。

- 新役員体制
- 委員長 寺林 義人
  - 副委員長 鈴木富智雄
  - 書記長 嶋田 福実